学校番号	３２６

令和２年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高校美術２　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１年次に行った基礎的な技能をもとに２年次ではより個々の内面にせまる制作活動を行います。油絵や版画の制作など、対象（モチーフ）を表現するものから、コラージュのように自分の内面世界を表現する課題など、幅広い制作を行います。それぞれの課題に真面目に取り組めばいろいろな表現手段を習得することができ、表現の幅が広がるカリキュラムになっています。真面目に、楽しく制作しましょう。

２　学習の到達目標

・自分の使う道具を整理整頓する。
・それぞれの画材を正確に使いこなせるようになる。
・課題の内容を良く理解し、その制限の中で自分らしい表現を心がける。
・積極的に授業に参加する姿勢を身につける。
・作品を制作し周りの生徒と影響を受けながら技能や表現の幅を広げる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	授業に積極的に参加し、より良い作品を作る意欲を持っている。それぞれの課題に関心を持って制作している。	対象、モチーフをよく観察し、自分がどのように表現したいと思っているかを探り、それに合った表現手段を考える。	油絵の具の道具の使い方や木炭、水彩絵の具、彫刻刀などの道具を使って授業をする。それぞれの道具の使い方、制作手順、時間配分を理解し、自分の行いたい制作に結びつける。	ぞれぞれの課題の特徴、制作方法を理解する。美術の歴史を理解し、自分の制作の参考にする。
評価方法	・提出作品 ・授業態度	・提出作品 ・授業態度	・提出作品 ・授業態度	・提出作品 ・授業態度 ・レポート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	ロゴマークの制作	・ロゴマークについての説明 ・下絵の制作 ・本制作	○	○	○	○	a:積極的に授業を聞き、能動的に授業に参加している。 b:自分の特徴を客観的に理解し、ロゴマークに反映できている。 c:ポスターカラーを使いこなしている。 d:ロゴマークの効用をよく理解して作品を制作している。	・提出作品 ・観察
1	コラージュの制作	・コラージュの歴史 ・切り抜き作業 ・コラージュ制作	○	○	○	○	a:コラージュの歴史を知る。 b:自由で独創的な作品制作をしている。 c:画面がよくまとまっている。 d:コラージュの特徴や歴史をよく理解し、作品制作している。	・提出作品 ・観察
2	アクリルガッシュの制作	・構図の説明 ・下絵の制作 ・油絵の制作	○	○	○	○	a:身近な風景にを関心を持つ。 b:色彩に気をつけて風景から感じた事を表現する。 c:アクリルガッシュを効果的に使用して制作する。 D：アクリルガッシュの道具の正しい使い方。制作手順の理解。	・提出作品 ・観察
2	本の表紙	・本の装丁についての説明 ・下絵の制作 ・制作	○	○	○	○	a:真面目に制作に取り組んでいる。 b:本の内容と合った個性的な表紙となっている。 c:ポスターカラーや筆、ブラシを正しく使える。 d:本の装丁の仕事に対する理解と技能の習得。	・提出作品 ・観察

3	版画の制作	・動物をデッサンし、それを基にして版画を制作する。 ・ドライポイントの正しい知識を習得する。 ・インクによる印刷作業	○	○	○	○	a:版画に興味を持って制作する。 B：余白などを上手く使い、生き生きとした動物を表現する。 c:ニードルの正しい使い方。 ｄ：版画の歴史や制作工程の理解。	・提出作品 ・観察

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。